

狛江市人権に関する市民意識調査

問 30 人権に関して思うこと、感じること、市の人権施策について意見などございましたら、記入してください。

人権全般

- ・人権問題に接することが少ないため、人権について考える場面が少ないのだとこのアンケートに答えることで気付かされた。
- ・子供や若者が苦勞しなければならぬ今の人権状況・社会を作り出した高齢者ばかりが優遇されているように思えてなりません。
- ・人権は年齢や障がいの有無、性別などに関わらず誰もが持っているものであるため、逆差別があってはならないと思っている（例えば障がい者から健常者へなど）。最近では障がいを利用した健常者へのハラスメントに憤りを感じた。
- ・人を見た目だけで判断してはいけないと思う。
- ・そもそも差別やいじめを受けたことのある人間にしかその苦しみは分からないと思います。また日本は圧倒的に日本人比率が高いことにより価値観が凝り固まり、「こうでないといけない」という共通意識を押し付けられることも多いと感じます。日本が世界のように感じている人も多いように思います。先人が築き上げたこの素晴らしい国を、もっと素晴らしい国にするにはマスメディアによる価値観の偏ったプロパガンダ的報道を減らし、寛容な社会づくりが必要であると思います。
- ・個人的に人権問題については「無意識な差別意識がどんな人にも存在し、その上で差別意識を減らす努力をする」ことが肝要だと思うが、差別に対して無頓着・無関心な人が多いという印象が強い。全設問に回答してみて、全ての課題に共通して幼少期からの教育に力を入れることが最も重要だと感じた。
- ・問 27 の狛江市が行っている取組みをほとんど知らなかった。人権問題に関してはどうにかならないか、どうにかしなければとは思いますが、実際の生活において、街頭の啓発活動も広報やリーフレットなどによる啓発も日常の絵のように溶けこんでしまって気にすることがあまりない。今回のアンケートで、狛江市が行っている取組みももっと気にして、自分でも参加していけたらと思う。そして、私のように、人権問題について問われたら良くしていかなければと思っているが、日常においては中々気につけられない、という人は多いのではないかと思う。
- ・正しい知識をちゃんと発信すること。無知が差別や偏見を生む。
- ・人権についてそもそも知る機会がなく、自分もボランティアの教育を通して、人権が守られていないことを知りました。人権について広く知る場が必要だと感じています。
- ・自分さえ良ければ良いという人、匿名で他者を攻撃する事で自己満足を得る人が増えているように思います。教育や啓発は大事かと思いますが、人の良心に頼るのは限界かとも思います。

・まず、学校の教育者の間でも、年齢、性別の違いで、考え方が違っていると感じます。教育者の間で研修や議論でしっかり共通意識を持ってほしい。実際は、モンスターペアレントが急増していて住民と教育者との意識も違うものと感じます。それぞれの立場で感じるものが大きく違っている現状、交流の場を増やすなりして気長に進めるしかないのではないのでしょうか。

・家庭内での親の考えが子の人権意識に影響する。育った子が親になり、その子にまた影響していく。そういう問題。

・十人十色、様々な人がいるので人権問題は解決しないと思う。人それぞれの価値観を人それぞれが尊重し合える社会を目指すべき。キレイ事かもしれないが、「理解すること」が近道だと思う。

・人権問題はイコール人間問題でしょう。人権に関する教育は必要ですが、その前提として異文化理解、多様性への認識、違いを認めることが必要です。人権について考えることは「人間とは何か」、「人間社会とは何か」について考えること。根本的に問うものではないのでしょうか。「人権が守られる」、「人権について語ることができる」ということは、その人（地域）の文化力の高さ、民度の高さを示しています。その点では、狛江は民度が高いのではないのでしょうか。また、議論できる、声をあげることができるということは表現の自由が守られていることにほかなりません。人の思いやりなど当たり前のことが当たり前でない現代をどのように考えたらよいかも大きな問題意識です。

・相談窓口が分かりづらい。

・日々の生活の中で人権に関して特に意識したことが無い分、コロナ禍とはいえ平和な日本に生きていることを幸せに思います。

・素晴らしい企画調査だと思いました。同和問題、LGBT問題につきましては、身近に感じることができず、正直どうしても、深く考えられず、残念な気持ちがありますが、実際に現実、深刻な影響を与えている以上は、関心をもって事にあたらねばと思いました。またアンケートに回答していくうちに、思ったことですが、「人権」についての問題は、私自身を含めて日本人のほとんどは、「私に関係のないことは我関せず」「逃げる」「見てみぬふりをする」。とにかく、自分と自分の周りのことだけは確保できればよしとする傾向が強いと思いました。まずは、全ての人たちでお互いの支えあいにより社会が構成されていること。人権を守る社会が実現できれば、より個人々の生活も豊かになっていくことを教育することが第一。そして、実際に身近で、人の目につきやすい助けあいの場を設けること。第一に、町で障がいをもたれている方、高齢の方々が困っているところがあったら助けていく。道案内、確定申告サポート、自分でできるところから。また、休日の時には、「こまえくぼ」等を通じて活発にボランティア活動を行うことを勧めてみることも、いかがかと思います。

・最も身近で最も高度な「人権」。誰もが理解し、実践できたなら事件も事故も減り、そして大きくは平和や安全を守れることとの思いに至りました。

・一口に人権と言っても、個々人の基本的な生活信条は千差万別です。従って、今現在人権

に関する悩みを抱えていると考えている人が相談、確認できる場所を提供できることは良き事だと思います。又、相談を受ける側は、その人なりの考えを持っている訳ですから、何を称して人権問題として取り扱うかを明確にしておく必要があろうかと思えます。困難を抱えながらも、誠実に人生を生きようとしている人への差別や批難や悪口は明らかに存在してはならないと思えます。狛江市は、あらゆる面において人を大切にしていこうという姿勢が見られて、住民として嬉しく思っています。頑張ってください。

・狛江に住んで、幸い？人権問題に関する事例に立合うことがなく、人権問題に対する意識はそれ程高くありません。ただ、40年間の会社生活で多くの外国人と接してきましたが、基本的に何人（どこの国の人）も人間として違いはなく、平等な気持ちで接すれば何の不都合も発生しません。お互いによく知らないという偏見が生じ、相手を異質と感じるのは？

・人権、ハラスメント…被害者側だけでなく反対側にも、両面からの問題や課題を評価し的確に解決を図る対応が必要なのではないか？最近ニュースや報道など人権を過大に伝えているようにも見受けられます。人々が正しい人権の尊重や課題を理解することの大切さも必要なのではないか？

・世代間での考え方の違いを感じます。今の考え方へのアップデートをしていきたいと思えますが、自分の考え方を変えられない人達もいると思えます。多世代交流したり、講演会で話を聞いたりして人の話を聞ける人でありたいと思っています。

・40代の私が子供の頃は、まだまだ外国人の方が少なく、障がいのある方やベビーカーを押した人たちの外出は少なかったと思う。そうした中で、人権を意識するのは特に難しかったかもしれない。幸い私は、大学時代のアルバイト先に、女装をした男性がいたり、英国留学した経験があり、20代で多様性を知ることができた。また、自分も一歩国外に出たら、アジア人であり、マイノリティであることも実感をもって学べた。それでも、気づかぬうちに、差別的な発言をしてしまうことがあるかもしれないと意識するようになっている。人間は自分と違うと認識したものを恐れる傾向があるように思うので、「他者を知ること」、「知ってないことを自覚すること」を、日々行っていく必要があるように思う。そのため、啓発活動は常に必要だと思う。

・ミャンマー・ウイグル・チベット等で人権を無視した弾圧が行われている。我々のできる事は、世界の動きにも目を向けて、身のまわりの困っている人の事も無視しない事だと思う。

・人権と一言でまとめると難しいが他人の権利、思いやりを守ることはつまり自分を守ることにつながっていくという意識を1人1人が考え、感じる事が大切だと思う。

・人権について改めて考えてみると、とても、難しい事だと思います。今は、コロナの問題もあり、思いやりの気持ちなど薄いように感じます。こんな時代だからこそ人権について、考える事が必要だと思います。

・コロナでもそうですが、法律を作らないとある一定の人は守ることができません。悲しいことですが、罰されなければわからない人が世の中にはたくさんいます。

・人権はもちろん大切なことです。しかし最近、流石にやりすぎでは…？という差別反対

運動が多すぎる気がします。女性だから～、性的マイノリティを無くそう等、なんでもかんでもやるのではなく、適切な方法で、対処することができると思います。

・私の体験を書きます。次男が中1の頃の出来事ですが、今後の為に参考となればと思ってます。生徒の悪い行いに対して、皆の前で名前を出して注意するのは普通の事でしょうか（例・万引をしたとか、外で何をした）。保護者会の際にも同じように「〇〇君は、〇〇」という話し方を度々すると報告しました（2度）。私は小さくなって聞いていましたが、何も知らなかったのでびっくりしました。私の育て方が悪かったのかとすごく反省しました。はっきりと親に対して言うのは、どういう意図があるのか？親の方も「〇〇君とは近づくな！ 友達になるな！」と防御することにならないのか。又、自宅でピアノ教室を開いている妹に対して、不評な評判で影響しないかと長い間悩みました。親に連絡して、先に注意してほしいです。教師としての資質を感じました。人権問題は、社会全体が、もっと関心をもって意識を高めていく事が大事なのかなと思います。幼い頃から親からの教育や学校での指導が元になり、自然な事として行動できるような社会を願っています。

・何でもそうだが大人になると意見の異なる人と交流する場がなくなる。そこから偏見／差別が生まれる。色々な人が参加できるコミュニティが必要と思う。ただ、狛江のように外からの人が多いとコミュニティを作るのも参加するのも難しいと感じる。私も狛江に住んで長いけど市内に友達もいないので特に交流はありません。

・人権は難しい。本人も気づかないで、誤った思いや勘違いを、生まれてから今までの中で持っている。どう気づいてもらうか、また気づいてもらったあと、どうもっていけば、本人も周りも納得もしくは落ちつけるのか。答えはケースバイケースだと思う。だから、寄り添ってほしいと思う方もいる反面、面倒くさい、嫌だなと避けていく方もいる。皆を巻き込んで、どのように前向きにもっていくか。ただ、ただ、難しいと思ってしまう。

・コロナ禍の今、仕事があり働くことができていることは恵まれているはず…けれど仕事をせず給付金をもらえる人達のことをずるい、私達が払っている税金が使われていると心の片隅で思ってしまう自分がいます。虐待を受けている子どもや障がいのある人への支援は当たり前と思っても、外国人への支援に対しては、「そんなに大変なら自分の国に帰ればいいのに…」と思うことがあります。お互いに支えあい助けあうやさしいまちを狛江市が目指していることを知らずにおりました。私が記した心の中にある本音…は私以外の方の中にも、もしかしたら存在しているかもしれません。学校で人権教育をきちんと受けてこなかったからなのか…私が人間として未熟だからなのか？もちろん狛江市がだれもが安心して暮らせる平和なまちを目指すことに対しては、大賛成です。人権を侵害された被害者の話を聞いたり、人権に関する情報をもっと提供されることも必要なことだと思います。私が最初に記した本音が払拭できるように、私ももっと人権について深く考えなくてはと、このアンケートを記入して感じました。

・現実の被害と事実の被害の違いを家庭と社会を同じく見て行って心を育む支援が普通に受け入れられると思います。

・色々なバックグラウンドを持つ全ての人が同じように健やかに生活できることを願っています。

・人権問題について相談する場所が分からない。そもそも、どんな行動が人権侵害にあたるのかが分からない。

・直接的にせよ間接的にせよ、関与しない限り関心がうすい。我々の意識改革が必要！

・人権課題についての各課題はそれぞれ行政単位で取組む問題かどうか考えてしまいます。主体がどこか考えることが重要であるような気がします。(市が取組むべきもの、都、国、メディア、教育) etc…

・地域の繋がりが薄いので誰が何のことで困っているのかわからない。子育て世帯、高齢者、同士の集まり、イベントや性的マイノリティ、外国人同士の気持ちを共有する仲間を見つける機会作りがあると、住民同士の助け合いがしやすくなるかもしれない。

・史実と法律の学習による基礎知識による人権意識のボトムアップが重要であり、思いやりだけで課題解決はできない。

・私はもう終活の日々の中で狛江市行政の一端の参加の元でいろんな貴重な体験と参加の時を頂き感謝うれしく思います。なにがと思いますが人権とは精神(心)に目に見えない傷を与えたり、受けたり重い課題と感じます。特に言葉の威力は(深く傷を与えると)感じます。言葉は多様に使いわけ、良く良く気をつけようこれからの日々心に修めて精進して過ごそうと思いました。

・長く狛江に住んでいて、人権という事を意識することなく生活が出来ているのは幸せなことだとこのアンケートで気付きました。人権は平等であるべきもので、主張が強すぎれば、それは別の力を持ってしまうと思います。そう思うと声をあげられないような弱者の方々が安心して生活できる環境になればいいなと感じます。

・人としての思いやりを大切にすることが大事だと思います。また自分だったらと置きかえて考える力を身につけていく事が大切だと思います。

・人権は必要であるが、毎日人権など考えずに生活出来ることが一番だと思います。

・狛江市でも人権問題について、十分力を入れているとは思いますが、一般の市民にそれを周知されていないので、こういった意識調査をしているのだと思います。私のようなごく普通の一般市民は、やはり自分が事件の被害者や災害などの被災者になったなど、その立場に置かれてみないと、その事について考えなかったり、人権についての問題がまだまだ不具合がある事に気が付かないのだと思います。でも、ここ近年は市内に外国人の方なども多数居住されていますし、偏見を持たず色々な考え方で柔軟な心を持ち行動していきたいです。

・自立するためのサポート。働く場。偏見をなくすための啓蒙が大切だと思います。特に学校における先生の態度は、子どもや親に与える影響が大きいです。他人を尊重するという教えを大切にしてほしいです。

・基本的権利であり、充実の必要性を感じます。

・まずは相手を知る事、認める事、自分自身も大切に、相手も大切にする事、意識付けが

大事。

・弱者をコミュニティの中心において、市民皆の目で見守り、支援する事が理想ではないでしょうか。（無関心・無責任は、やがて自分に返ってきます。）相手の立場になって一つ一つ考えることが大切と思います。

・他者を思いやり、認める事。

・私自身は人権に関して考えたり、経験した事が無い為施策など考えられません。ただ思う事は子供を育てる親が自分の子供を育てていない。学校が社会が育てると思っている様な親が多い。社会も？共働きが多すぎる。そんなに働かないと生活できない？

・各々の人権に対する回答は、私の勉強不足及び質問が現状とは大きくかけ離れたものがあること、誰にでも当てはまるような問題が記載されていることから、控えさせていただきませぬ。他者の人権を尊重するために、自己の人権を阻害したり、犠牲にしたりしてはいけません。また同じ立場の権利を有する者達が、全く食い違う意見が出た場合、どういった判断をするか等を大枠、大筋で定めるだけでは難しいと考えます。支援、啓発、救済等の名目で、他者の迷惑を顧みず、現状何一つ変わらなくても関係なしに、金銭等目的で人権を主張し続ける人もいます。その方達に騙されたり、利用されたりせず理解を見直せる機会や環境を整備すべきです。

・人権問題に限らず、社会課題に関心がある人を「意識高い」などと冷ややかな目で見ると風潮がなくなればいいと思う。そのためには、子どもの頃から当たり前に関心を持てる環境を作るべき。

・難しい事は、わかりませんが、自分が“幸せ”と思わなければ、人にも優しくなれないと思います。「みんな違って、みんないい!」。ささやかでも“幸せ”と思える日々を、おくれるよう、“困っている人”を見逃すことなく、支援して頂きたいと思います。

子どもの人権

・子どもの人権侵害（性的被害など）が起こらないように力を入れてほしい。こまめな安心安全情報メールのように、情報を流すだけでは、親は防ぎようがないので、環境の維持をしてほしい。

・これからのシルバーデモクラシーの世の中を考えると、高齢者以上に子どもに対する人権施策を強化していく必要があると思います。

女性の人権

・少年野球団体ですが、一部の役員が飲み会へ保護者（母親）を呼び出しコンパニオンをさせ、体をさわるなど、セクハラがありました。

障がいのある人の人権

・人権に対しての認識が低いと感じる。車椅子の父を新しい女医先生の皮フ科に連れて行った時に、雑誌のそばで待っていると、病院スタッフが、ドアの開閉する入口横に移ってくれと言ってきました。そこは窓も開いていて、夕方だったので寒く、「窓が開いている」と受付に言うと「閉めてください。」と命令されました。「何で、私が閉めるんですか。第1 どうして、移動しなければいけないのですか？」と聞くと、「雑誌を取りにくる子どもたちが、車椅子の足にひっかかると危ないからです。」と言われました。非常に不当な人権侵害だと思いました。車椅子の年寄りも、尊重されない病院でした。女医の院長も、うちは狭い！というぐらいで意識の低い人でした。子どもたちは、車椅子のそばでは気をつけて通っていましたし、社会にはいろんな立場の人がいるのをわかっていないのは病院側だけでした。

・第1小学校卒ですが、いずみ学級があったおかげで、1年生のうちに、世の中には障がいのある人がいて、優しくしなければならぬ事が身につきました。他の小学校でも、同じような体験ができれば差別のない大人になっていくと思います。

・障がい者と言われる人、中でも重度障害と言われる人に対しての理解促進が遅れています。重度障がい者は市内には受入れ態勢（グループホーム）が無いので「市外へ」が当然のように思われている。本人の思いや本人家族の思いが伝わらない。誰もが安心して住み慣れた地で暮らせるよう住宅の整備等（グループホーム受け入れ）お願いいたします。「重度は市内グループホーム入所対象外とされている。これは差別ではないか？」の問いに「市職員はグループホームの入所には関わっていない」との事（断言された）。どこに相談すれば良いのか解らない。市職員さんの言動。「はみだしてきている」「固定化（障がい者）してきている」、「こんな生活いつまで続けられるか分からない」。こうするしか術がない暮らしを「お母さんは子の面倒を見たいと思っている？」と家族が言われた。などなど他にも（他の職員さん）「何がしたいと言うのだ」「〇〇（あるグループホーム名）に入りたいとでも言うのか」と地域生活を否定するような言葉をかけられた。

・私は、福祉に関するボランティアをしています。これまで「子育て」「孫育て」を経て、障がいをもつ方と触れ合わずに生活してきました。ボランティアで障がいのある方の不安を聞きとり、こんなに身近にいるのだと知らないでいたことが恥ずかしく思う日々です。子どもが、障がいでも区別されることなく当たり前のように、共に暮らしていく、まちづくりを進めてもらいたいと願っています。

・障がい者に対する教育環境の充実。特別支援学級の情緒クラスの整備。

外国人の人権

・外国人（特に東南アジア系の人々）に対する行政サービスの拡充、病院の対応の充実を図ること。

・日本語の日常会話はできるが、日本語を読む、書く細いところまで理解することはとても難しい。これを公共の場で求められることがある。現在、日本に帰化し国籍を変更している

が、パスポートや外国人証明書を見せることを求められたことがある。自身の出身国、人種による差別や偏見だと感じることもある。

性的マイノリティの人権

・多様性ある社会を作るためにも同性パートナーシップ条例やこの基本条例に性的マイノリティなどのアウトティングの禁止などは盛り込まないのでしょうか。ジェンダーバイアスを含めた、アンコンシャス・バイアスについても、今後の人権教育には、必要性を感じるので、是非とも進めて頂きたいです。

・ニュースを最近見ていると、女性差別や性的マイノリティの方への差別やインターネット上での誹謗中傷などの人権に関するニュースを見ることがありますが、自分も気付かない所で差別的な考えをしていることがあるかもしれないと思ったり、まだまだジェンダーについて古い考え方で考えていたり、知らないと思うことがあるかもしれないと思うことがあります。

・1. 基本的人権は尊重されるべきであるが、実際に差別などがある。これは本能的な自己保存に帰因するので、ある程度はやむを得ない面もあるのではないか？ 2. 性的マイノリティの世界は全く理解を超えている。男が女に対して関心 (Sexual Interest) があるのが自然であり、女も男に対して同様だと思う。

インターネット・SNS 上の人権侵害

・SNS、インターネットを使った、個人情報の流出を見聞きする。人権侵害に該当すると思うので、罰則や取締りを強化し、流出を未然に防げる世の中になってほしい。

・普通に生活している分には影響が無いが、もし当事者になった場合にマスコミやSNSによる拡散リスクに対しては懸念している。

・インターネットが身近になり手っ取り早く情報が手に入れやすくなる反面、真偽の分からない情報も多数含まれている環境でもある。使う側が見極める目を持たなければその情報によって誹謗中傷が生まれてしまう。インターネットをどう使うかもうそうですが、法整備したところで結局は使う側が変わらなければ多数の人権問題は絶対無くならないと思う。

人権に関する教育

・他人に興味を持てるように、それについて考えていけるように、学校の教育でも学ばせていける時間を増やす。

・教育が一番大事だと思っています。

・知らないから差別してしまうことが多い。小さい頃から知識を得て、自身で考えられるような教育があると良いと思う。

・子どもの頃からの教育が大切だと考えます。問題があるのは大人、そして高齢になるほど考え方が古く変えられなくなっていると思います。

- ・子どもの頃からの教育として学ぶ事が大事。年配者の意識を変えるのは困難。若い世代に期待しています。
- ・小学生になる娘がいます。小学校で定期的に配布される「子供 SOS」のカードなどは、親子共に「何かあったらここに！」と意識付けされるので、よいと思っています。偏見や他者差別の意識の多くは、幼少期の経験によるものが大きいと思います。学校でのダイバーシティについてのイベント・教育をお願いしたいです。
- ・世の中が刻々と変化し価値観も色々。個人的な意見ですが大人の意識が自分さえ良ければよいと思う考えや妬み心が多いような気がします。家庭や地域で思いやりと感謝や自立心を育てれば人権問題はかなり解決出来るような気がします。子供の頃からの教育が大切かとも思います。
- ・大人になると自分と似たタイプの人としか交流がなくなってくるので学生のうちに（小・中・高）学校でなるべく多くそういった問題に触れる機会があるとよいのではと思いました。
- ・人権問題に関しては、如何に幼少時代からその意識を植付けるかが肝要。表面的な広報（問 28 に記載された類）だけでは不十分と思慮する。
- ・小さい頃からの教育（学校、家庭、社会）が重要だと思う。
- ・なかなか大人の意識を変えるのは難しいので、やはり幼い頃からの教育が必要。
- ・幼少児からの家庭内教育。教育現場での生徒間、教師間のコミュニケーション不足。聞き取りの整合性の判断能力、教師の能力向上。教育委員会の閉鎖性組織の硬直化改善などやるべきことは山ほどある。子供をいかに導くか船長次第！！
- ・自分達さえ良ければと思う人達が増大している。格差社会が人権を壊す。これからも努力願います。小学からの人権に関する教育、SNS のあり方などを教えてほしい。都心部（渋谷区、新宿区）などには、狛江市より多く接する機会があるため、当たり前になりつつあります。狛江市民の意識の遅れがないようにしてほしいです。
- ・多くの人に浸透する点で、学校教育は大きな役割を果たすと思います。人権意識を、若い人に学んでもらうために、まずは、教職員への研修が必要だと思う。
- ・子どもの頃から学校教育、家庭内でしっかり伝えていく事が重要と考えます。
- ・尊重の中には「寛容」と「無関心」の 2 パターンあるが、無関心は悪いことではないと思う（同和やアイヌ問題など、知らなければそもそもそこに差別が生まれないから）。関心を持つことは良いことだが、知識が偏ると文字通り偏見を持ち差別につながるのでは、関心ごとに対する知識の付け方を老若男女すべての人が学ぶべきだと思う。そういう意味では教育は子どもだけではなく、大人にも受ける必要性があり、機会があると思う。

行政への要望等

- ・今回の意識調査の依頼を受け、行政が人権問題について意欲的に取り組んでいこうとしていることは理解したが、前市長のセクハラ問題のことを考えると、まずは上に立つ人間の意識改革からなのではないかと思う。今は、狛江市民であることを恥ずかしく思っている。

・わたしが不勉強なのかもしれませんが、正直言って、人権に対する取組があまり見えてきません。

・今回この調査を回答するにあたって、人権という言葉は知ってっているものの、恥ずかしながら人権とは何か？を調べるところから始まりました。回答していくにあたり、そもそも「知らない」ことが多く回答しづらい印象をもったことから、まずは「今、狛江市で何が起きているのか」を知ることが必要だと思いました。ただ、日常で市が行っていることを知る機会が少ないというのが正直なところでした。狛江市に住んでる理由としては、日常生活をする上で立地が良いことが大きく、市が何をやっているのかというところに正直考えがありませんでした。そんな私でも、この人権に関して市が行っていることを知る機会を考えるとすると、SNSの広告や、駅の広告、コンビニ、スーパーなど生活の一部にもっと市のことを知る機会が増えると、人権に対しての知識が増えるため、理解につながり、偏見をはじめとする対人の課題解決に繋げられる機会が増えるのではないかと思います。そう簡単なことではないかと思いますが、一意見としてご参考いただければ幸いです。

・このアンケート全体を見ますと、子供・女性・高齢者・患者・障がい者・マイノリティをいかに守るべきなのか、という視点が見えてきます。ここには主語はありませんが一般的に理解すれば、健康な男子がそれぞれの他者をいかに守るべきなのか、という視点になります。私は、これこそが差別社会の原点だと思います。誰かが誰かを守るべき、という思想そのものが、共存共栄ではなく差別社会を生んでいる根源だと思います。このアンケートの前提には、健康な男性が社会を守るべき、という無言の圧力があるように見えるからです。つまり、守るべきものと守られるべきものを創り出しているのです。それは差別を創り出していることと同義です。このような考えがベースにある限りは、残念ながら、この問題は一向に快方に向かわないでしょう。私は、狛江市のような小さな自治体が、面と向かって取り組む問題ではないと思います。もちろん、政治パフォーマンスとしては一定の効果はあるかもしれませんが。しかし現実的には、このような稚拙なアンケートを企画している時点で、難しいと思います。小さな自治体では人員も予算も非常に限られているからです。このような世界全体の共通な問題については、より多くの自治体や世界とのタイアップに注力すべきです。そうすることで、重なりのある多くの部分に対しては、効果的に解決策を見出すことができます。小さな自治体でしかできないこともたくさんあります、狛江市はそういうところに注力すべきだと思います。

・私は小学生の頃に友達が陰口や、意図的に避けられる、悪意のあるあだ名で呼ばれるなどのいじめに遭ったことがあります。その時の相談先は担任の先生でしたが、取り合っては頂けませんでした。その時の言い分は、「貴方のような友人がいるからいじめではないと思っていた」というものでした。このような考えを持つ人は多くはないと思いますが、一部には確実に存在しています。どうかいじめに限らず全ての人権問題に対して、それがどれだけ重いものなのか、そしてすぐに拒否をせずにせめて話を聞いて頂けるような環境を作っていくためにも、人権に関する活動をこれからもお願いしたいです。

- ・「セクハラ市長のいるところ」と言われるのはもう恥ずかしいので嫌です。しっかり対策された【恥ずかしくない狛江】になることを期待しています。
- ・人権を尊重しみんなが生きやすい狛江をつくる基本条例を初めて知りました。もっとPR方法を考えたほうが良いと思います。
- ・バリアフリー化が遅れている。特に学校にエレベーターがないのは、車いすの児童や保護者への来校拒否ではないのでしょうか。図書館に行けない方のために（歩行困難等）、宅配サービスを検討してはどうでしょうか。教育現場で、外国人（特に外見が異なる黒人）と触れ合う機会を設けてほしい。幼いうちから親しみを持つことが、人間形成に影響力が大きいように思います。
- ・人権施策は「予算の原資が税金だから」という理由で積極的に活動しないのは無駄な努力になると思う。もっと前向きに予算を投入して能動的な活動に取り組んでほしい。
- ・子どもも生きやすい社会にしてほしい。子どもを育てるのが金銭的に困難である。
- ・色々なテーマがある人権施策ですが、2年間くらいでテーマを決めて集中的に検討・PRを行うといいのではないのでしょうか。
- ・人権を侵害している人も生育歴をみると人権を侵害され続けた人が多いと思います。負の連鎖を断ち切れる、社会的孤立をなくす事業を行ってほしいです。
- ・担当部署だけの問題意識ではなく、狛江市役所をあげて取り組むことが重要であると思います。そのためには市長をはじめ職員の人権教育を徹底して推進すること、「隗より始めよ」の心構えが大切だと思います。
- ・啓発とともに、実際に問題に直面している人へ助言できる仕組みがあるとよい。
- ・狛江市の人権施策活動についてもっとPRすべきです。
- ・条例のことは全然知らなかった。自分でも驚く。
- ・弱者や人権侵害されている人々の声が迅速に解決されるようになればいいなと思います。他人事ではなく街全体がここで暮らしていて安心感が持てるそんなステキな場所になる事を願っています。
- ・加害者側が意識していなくても加害者になりうるという事をどの様に啓蒙するか？をあらゆる方面から検討し、対策を考える事が重要。
- ・自分で責任を負う、という責任感が年々薄まっている気がする。もっと自己の解決能力を高める取組をした方がよい。
- ・自分がされたくない事を人にはしてはいけないという価値観を育むための努力をあらゆる角度から展開してほしいと思います。
- ・「人権と平和を守る狛江市」というスローガンを市役所の外壁に貼り付ける。
- ・私は狛江市の人権施策をよく知りませんでしたが、今回のアンケートを通して、とても良い施策だなと思いました。是非頑張ってください。これは1つの意見なのですが、ポスターやチラシよりも、時代に合わせたSNSでのPRが良いと思います。
- ・どのように困っているのか、大変なのかをどの分野についても知らなすぎるので、まずは

現状を知ることからかと思いました。周知の仕方も大切で、「そんなに大変なのか…」とか「そうなのか…」と素直に共感できる方法で現状を知ることができれば、間接的になるかもしれないけれども接し方や、協力の仕方が良い方向に変わるのではないかと思います。障がいについてはダイアログインザダークに参加したことで見方が大きく変わりました。有意義な施策、期待しています。

・最近障がい者、高齢者に対する差別などは減ってきたと思いますが、世界と比べてみるとまだまだなのかなと思います。特に子どもとLGBTQなどの性的マイノリティの方への支援は改善の余地があると思います。狛江市はコンパクトシティでありながら人口密度が高い地域だと思います。それゆえ、多種多様な方が暮らしている地域だからこそ福祉ニーズを地域住民主体で解決できるよう行政がサポートすることが求められていると思います。加えて、性的マイノリティの方への支援や子どもの支援だけでなく高齢化した障がい者の支援等これからの課題が多く出てくると思いますので、近隣の地域と連携し、適切なサービスがより多くの人に行き届くようにすると、誰もが最期まで自分らしく暮らすことができる、より魅力的なまちになると思います。

・テレビや新聞等で人権に関して考えさせられる事はありますが、狛江市として特に表だってどのような人権に関して事業をやっているか又それをやっても完全か。市民と身近な意見交換の場は市役所の窓口だと思うのできちっとしたはっきりと市民にわかる策をお願いします。※音楽の街、絵手紙の街として一部分の市民にしかわからない。もっと大切なことをやっていただきたい。

・市で行っている支援やその他情報は知ろうとしなければ全く知ることができない(現に知らなかった)。人のつながりが薄くなっている現代社会において、広報の配布・SNS等、時代にあわせた周知をしなければ必要とした時にどうしたら良いかわからない人がたくさんいると思う。

・人権は人間の尊厳において、一番大切な事なので狛江市では人権に関する相談等があった場合、人権を尊重し、愛をもって市民の相談にあたって頂きたいと思います。今回のアンケートは、とても有意義な調査と思います。

・「人権」について今まで全然考えることがなかった。もし、立場が違ったら、悲しかったでしょう。だから、よく考えてあげたいと思いましたが、すべては教育された未来が、今を作ったのでしょう。でも、外国人が人権と言うのは、立場的に怖いようで、日本の法律、その他を教えて、守ってくれるよう頑張ってもらいたいです。国がやらないと。恐れるばかりの外国人にしないで。

・狛江市は人権差別について少ないと感じるが、困っている人はいると思うので、相談窓口があるという事を広報などを通じて、広く受け入れられる環境作りに期待したい。生まれてから狛江に在住しているが、どこに相談すれば良いか私でもわかりません。困っていない人でもわかるようにしなければ、困っている人には伝わらないかと思います。引き続き、よろしくをお願いします。

・国と都の上の方の人に、人権意識の希薄さを感じます。立場が上の人こそ、自分の間違いに気づきにくいので、そういう人達こそ学んでいけるようにしてほしいです。

・専業主婦でも、もっと子どもを預けられる施設があればありがたい。子どもはかわいくて愛しい存在だが、それでも子育てに疲れたり、24時間一緒にいると心の余裕もなくなってしまふ時がある。相談する程でもないよな…だけど少し1人になりたい…と思ってる働いてない母親はたくさんいると思う。何も聞かずに、ただ4～5時間低価格で子どもを見てくれる場所があると、母親もより愛情を持って接せれるようになるのかなと思う。働いてないと保育園には預けられず、困っている人は多いかな…と思います。

・相談窓口、各種の施設、警察などの連携不十分により、悲劇を防げなかった事例が、よく報じられる。横断的な取組みを望む。

・人間らしく、生きていける。よりよい狛江市に期待します。

・様々な方がいる現在において人権の平等は難しい課題だと思います。人権の格差はあるものとして、その当事者が頑張ったりアクションを起こすことで「改善出来るんだ」と思える支援体制があればありがたいです。民間の物やサービスの活用も含めミニマムにまとまっている「狛江市」ならではのモデルを作れることを期待しています。又それが全国に広がるようなものだと思えます。行政の力も大切ですが自己責任、自己の頑張りも求めてもよいと思います。その為の指標があると目指すものが見れるのではないのでしょうか。

・よりよい狛江市になるようよろしくお願いします。

・わかりやすい冊子の配布。

・人権を侵害されたと思う事は、その個人個人、受ける感じ方がそれぞれであるが、それを受けとる窓口、支援する団体、役所などの受け口の教育や研修のスキルを向上する事で、最小限で阻止できるのではないかと思う。このことに限らず、すべてにおいて、対応の悪さを日々感じる事が多く、それは自分には関係ない、上が国が、なにもしてくれない知らせてくれないと、相手がどう感じるか思うかと違うところで動いている事が多く問題解決に至ってないように思います。わざわざアンケート（調査）をしたからには結果集計だけではなく、反映してよりよい狛江市になるよう願います。

・人生の大半を障がい児を対象とした業務に取り組んできました。そのような日常生活から、日頃、人権や弱者の立場での現状等について考えざるを得ないことが多いです。そのようなことから、特に、狛江市民として痛感するのは、せっかく素晴らしい（「問26」にもある）「人権を尊重しみんなが生きやすい狛江をつくる基本条例」があるのですから、狛江市民一人ひとりに広く知ってもらい、より、今以上に周知し、少しでも本当の意味で狛江が人権を尊重した生きやすい町となるよう実現に向け、充実した施策を切望致します。

・そもそも人権施策に力を入れていることを知らなかった。「人権」という言語がわかりづらいたと思います。市民一人一人が…助けあうまちの方が理解しやすいです。表現を変えてみてはいかがでしょうか。

・取組みは継続してほしい。幅広い世代（子供から大人まで）に渡って、わからない、でも

良いので、インタビューみたいなものをしてほしい。気付きのきっかけになるかと思います。

・生まれながらにして、持っている権利、それが基本的人権。法律には記されているものの、人間社会の中では、時としてそれが侵され、知らぬ間にそうなっている事、昨今、感じられる。日常茶飯に行われている、嫌がらせ、いじめ、差別、自分が優位に立たんが為に、人を上から目線で見下そうとする。その気持ちこそが、人権を侵す始まりだと思う。自分自身、そうされた時、どう感じるのか？どう思うのか？常に人の心に寄り添い、想いやる気持ち、それが最も大切だと思う。いつも、自身、その気持ちを、忘れないよう心したい。狛江市に対しては、人権を尊重し、啓蒙啓発活動を積極的に行い、個人がはっきり、物が言える世の中を望む。

・人はそれぞれ、長所短所、できる事できない事があります。一人一人が、当たり前的事と捉えるのではなく、自然に感謝し、助け合える社会が必要だと考えます。理解してもらって当たり前、優先されたり、譲ってもらって当たり前という考えをなくす努力が行政に必要なと考えます。その上で必要な事は進める。

・市の施策の他に“企業”での施策も活発にしてはどうかと思います。企業で研修（従業員に対して）してはどうかと思います。公務員の皆様が、まずは先陣を切って、心の芯から感じ、動いてほしいと思います。人への教育はその次です。「お役所仕事」が、まだまだ市役所・他で行われています。心ある、聖職と認識する公務員の方が1人でも増えて下さることを祈るばかりです。このアンケートも「形ばかり」感が否めません。

・問26「人権を尊重し、みんなが生きやすい狛江をつくる基本条例」について。内容について不勉強で全く知りませんでした。「狛江市暮らしの便利帳」を開いてみましたが、基本条例について見つけることが出来ませんでした。どの様にして市民に周知しているのでしょうか。（問29-13）

・子どものいじめ、不登校が多いと思います。不登校の子に、学校の先生方の対応が不十分であると聞いております。狛江には不登校児を受け入れるフリースクール（小学生～）を作っていただきたいです。小学校低学年から不登校になったお子さんがいます。お母さんが一人で頑張っていらっしゃいます。学校も市ももっとサポートしてあげて下さい。

・私の周りには人権問題を抱えている人がいない。見えていない、気づいていないだけかもしれませんが、「狛江をつくる条例」の周知、活動内容等をもっと多くの方に知らせてほしいです。狛江市にも日本人以外の方が多く住んでいらっしゃるようですが言葉が通じない事と意思疎通がとれない事、治安の面での心配が少し思いあたります。

・狛江市が行っている人権について理解する取組みを知らなかったのもっと周知させる必要があると思いました。

・すべての人が平等は、理想論。人権が侵害された被害者に対する、フォローの充実が望まれる。子どもの人権教育は現状でもすばらしく、継続により長期において国民の意識は向上できる。リソースが限られる中での対応となるので、選択と集中の施策が望まれる。

・予算をつけずに何かを変えるのは不可能なので、とにかく予算をしっかりとつけてくださ

い。上下水道、学校給食、歩道の整備、すべてが人権に関わる問題だと考えます。頑張ってください。

・人権を侵害された人が「その状況を正しく受けとめ対応してくれる」組織があることが大切。セクハラなど、組織がきちんと取上げ解決することを市として、責任を持って実行してくれることを望みます。

・気持ちや考え方を変えるのは時間がかかることだが、環境（設備・施設など）は、予算次第だが、すぐ着手できる事が多いと思う。環境を変えることで、意識の変化につながるものも多いと思うので、先ずは目に見えて変わる事からでも着手して頂ければ、と感じました。また、こういった、アンケートを市民にとっての姿勢は素晴らしいと思いました。（転居してきたばかりだったので、少し驚きました！）

・更生保護と市民活動に関心を寄せる一人として、ご参考までに一言。市民活動団体を主な対象に人権をテーマとするラウンドテーブルのような意見交換会を開催する。市内の愛光女子学園への訪問や調布・狛江保護司会へのアプローチなどにより、人権課題のリアルな把握の一助とする。

・世界のスタンダードと日本との差異を無くすには、早急には無理だと思いますが今は過渡期だと思う。若者に期待したい。世界の事例・判例等を日本と比較し紹介してほしい。

・今回の人権のアンケートを受ける事で改めて、意識（認識）しました。人権施策と並行して、アンケートをし続ければより多くの人への意識効果と声が届くかと思われま。個人的には、高齢になる事への偏見差別を危惧します。これからも狛江に住み続けたいので、安心して生活できるよう人権尊重の施行を応援します。理想的な街「狛江」を目指して下さい。※市主催のイベントの時に狛江市が人種尊重の施行をしている事を具体的に伝えて頂いてほしいです。

・正直、研修会や条例の周知を充実させても、聞いていない人は聞いていないと思うし、結構、知らんぷりな人が多い気がする。もちろん周知する事も促していかないといけないが、それ以上に、今人権被害にあっている人をどうフォローしていけば良いかを考え、そこを充実させていった方が良い気がする。困っている人を早急に助けてあげてほしい。狛江市は小さな市だからか、その様な対応はいつも早く対応して下さいととてもありがたいと思っています。

・⑭一冊子→特定の方しか参考にしないのでは？展示にかかる費用等を⑧に当てた方が有効では？一般生活の中で人権問題にかかわる事がなかった様に思う。身の廻りにかかわりのあった方々には大きな問題であると思う。

・「人権」の尊重と言っても広すぎる。具体的に年度毎にテーマを決めて活動したり市民にイメージ出来るものにしなければ何も感じないし、行政サイドの自己満足になってしまうのでは。

・人権問題に携わっておられる職員の方には相談しに来た人への思いやりと適切なアドバイスをお願い致します。思い悩んでいた事柄の解決への道を与えて頂けたら幸いと思いま

す。行政のバックアップが何より必要だと思います。

- ・人権を尊重しようという施策はとても良い。ただ、狛江がそのような条例を出していることは知らなかったし、知られていなかった。人権問題の基本は不理解だと思うので、相手を理解するための活動が重要と考える。

- ・12月に転入して来ました。狛江市が人権に関して、力を入れている事を知らなかったの
で知る機会があると良い。

- ・人権施策の大きな柱として、市として、学校教育として、人権教育をより進めてほしい。特に性教育を子ども達の発達段階に応じて、小1年生から命と向き合う教育として、きちんと教えてほしい。先進国の中でも日本は正しい性教育が遅れているために自分の体に対する正しい知識がないまま大人になっている。今の大人達は正しい性教育を受けていない世代であるために我が子にも教えられない親がほとんどだと思う。また、SOSの出し方もわからずに家庭内で、学校で、性的被害に合っている子ども達が市内にもいると思われる。自分の心身を大切に尊重するということはどういうことなのか、自分と同じように他の人の心身を大切に尊重するということは、どういうことなのか子どもと一緒に大人達も学ぶことが、市の人権施策の中心になると思います。特に狛江市は前市長の不祥事があったのですから、過去の過ちをなかつたことにするのではなく、なぜあのような事態になったのか、再度検証し、課題を明確にして、現在は改善されたのか行政として市民に示すことが、何よりの人権啓発になると思います。

- ・支援や啓発など曖昧な表現なので具体的に数値目標を設定して取り組んでいただきたい
と思いました。

- ・人権問題は、子供の頃から家庭や学校で繰り返し教え込むことで自然に身につくもので、一時的な講習や知識の付与で解決できる問題でないと思う。市としても施策推進の中で機会ある毎に永遠の課題として今後共取り組んでいただきたい。なお、今回の意識調査は項目が多過ぎて選択に戸惑うことが多かったというのが感想です。

- ・このような活動について全く知らなかった。

- ・「人権」というと堅いイメージがあるので、サブテーマに柔らかい、わかりやすい言葉を取り入れたらいいのではないかと思います。

- ・学校では教職員による暴力、暴言、各種ハラスメント、授業放棄、国歌のページに違う歌のプリントを貼らせることなどが、現在でも報告しない、できないだけでたくさん行われているのが現状です。子ども達の為に、そのような学校や職員を監視する必要があると思います。市の方から子どもたちに直接、年に1回でも理不尽なことをされたときの対処法と連絡先などをレクチャーする機会を設けてください。プリントを渡すだけだと職員に捨てられることがあります。(実話) しっかりオフラインで出向いて指導すれば、改善するのではないのでしょうか？

- ・私は、人権に関しては直面しないと判らない問題だと思います。人権課題に対応する相談窓口の充実が一番だと思います。

- ・狛江市が人権施策を重視しているならもっと市民に周知しなくてはいけないと思います。「人権～条例」を知っている人も少ないと思います。
- ・他を思いやる心を忘れかけていた。色々な弱者に手をさしのべてほしい。多くの人が、困っている人を助けたいと思っている。市はそういう力を出し合える場、方法をぜひ、考えてほしい。
- ・人権問題に直面したことがないので？という気持ちです。今回の様な形であれ、声に出して呼びかけをして下さると、市民としても考えるきっかけになりました。
- ・介護認定者の高齢者に対する態度。上から目線の。人権無視を教育して下さい。
- ・市役所の方の対応の悪さが気になる時があります。
- ・狛江市が人権に関して力を入れていることを知らなかったのもっと上手にPRしていた方が良かった。
- ・多様な考え方がある中で、人権に関する指針を打ち出していくことは難しいことと思います。どのような立場であれ、互いに「尊重する心」がもてれば、家族、職場、街など、大小の組織どこでも、生き生きとした暮らしができるのではと思います。狛江市が、より暮らしやすい街になることに期待しております。よろしくお願い致します。
- ・市政が人権に対する取組みをしている事すら知りませんでした。内容知っていれば、回答の質も向上できると思います。
- ・子供の人権、高齢者への支援に力を入れてほしいです。
- ・日常の生活に追われて人権に関する事は考えることが少ないです。ただ社会に迷惑かけないように生きてます。狛江は住みやすくなった町です。色々あっても狛江は第二のふるさともなりました。市役所の人たちもっと親切にしてくれませんか。年よりだと思って面倒くさそうに、時にはバカにした態度の職員さんもいてがっかりします。他の区役所に行くと親切の違いがよくわかります。他の区役所への研修が必要だと思います。狛江が住みよい町になることを望みます。
- ・人権を一括りにすると抽象的になるので、具体的にしていくと同時に焦点をしばった施策にすればわかりやすいのでは。
- ・直接人権に関係ないかもしれませんが市役所職員の対応の態度がいつも事務的で偉そうな人が多いです。市役所職員に対する人権研修の充実を切に望みます。誰に対しても親切で優しいきめ細やかな心遣いを希望します。
- ・広報も時々コミックなどで読みやすくわかりやすいものにするなど工夫してほしい。
- ・市役所のみなさんのご対応は親切でとても良い市役所だと思いました。話しやすく相談しやすいです。人権に関しては、お互いの違いを認め合い、多様性を受け入れていく社会が必要だと思います。ただ話を聞くだけではなく、継続的に気にしてくれたり相談できたり、家に訪問してくれたりなどの一歩深い支援があるととっても良いなと思いました。
- ・基本条例が制定されたとのこと、具体的に実行してより良い狛江市になるようにして下さい。

・母子家庭、父子家庭、貧困家庭等々の援助として現在3年生までの学童保育を希望すれば6年生以内等にしてほしいです。その様にしている他市町村もあります。障がい者、女性等に親切な行為をした時、感謝されなかったり不快な反応を示されたことがありました。親切な行為を受けるのは権利であると言う様な考えには反対です。当事者達への啓蒙も必要と考えます。

・個人的な体験では、狛江市役所での対応は、対応する職員で温度差がありました。市役所職員の人権課題への意識を上げて困っている人に少しでも親身に寄り添える行政であることをお願い致します。

・この度、アンケートを記入するにあたり自分が知らない事がいかにたくさんあるという事に気づきました。何事においても自分が直面してはじめて気づくのではなく、いろいろな事を正しく事前に意識しておかなければならないな、と思いました。このアンケートの課題に取り組もうとなさってる狛江市職員の方々に頭が下がります。ありがとうございます。

・高齢者…とくに独りの方に対する支援体制が不安。知らない、わからない…ことが多いように見られます。障がいのある方…程度にもよるが軽度知的障がいなど、わかりにくいものに対して本人も家族も知らないまま過ごしている場合がある。定職につけず、転職をくり返すなど生活が不安定な人をどう守るか？子供…親により格差が生じていることも事実。また、共働き、ひとり親フルタイムだとなかなか参加できない（参加しにくい）少年スポーツ団など、地域でサポート必要なのでは？外国の方…住居が安定し就職・交流（地域との）できるサポートの充実。

狛江市について

・狛江自体は平和な街だなと思います。住みやすいですが地価はほどほどに高いので平均的な人柄の人が多いのが平和な要因かなと思います。その為人権侵害を感じる機会も少ないです。

・いろいろ問題があると思いますが、狛江市民が常に平和であることを願いたいです。

・他の町よりも障がいのある人たちが、町中に出ている気がします。同じ時間にすれちがう方もいて、市民が見守っている感じがあると思います。暴力を受けているとか、家庭内のことは気づきにくいです。通報義務があるとわかっているけど行動に移すのはなかなか難しいと思っています。

・狛江はおだやかで住みやすい地域だと思います。ただ、私達の知らないところで辛い思いをしている方も多いのではと感じます。私が知らないだけで淋しい思いをしている人がいるかもと興味を持たなければいけないと思いました。

・狛江に来た時よそ者扱いされました。（ビックリ）

・人権に関し、狛江に住んでいて、意識したり、問題に遭遇したことがない。それだけ市の中では、表面に見えていないと感じる。狛江市が人権について問題を抱えているのか、比較的安定しているのかは把握していない。自分が市内のことに無関心なのか、改めて意識する

必要があるのかもしれない。

- ・狛江に住んで思う事は、未だに根強い部落差別が有る事。
- ・私の住んでいる地域は外国の方が多く見られます。狛江は住みやすいですね。と言われたと思います（言われたこともあります）。
- ・少し内容がずれると思いますが、子供が自由に遊べるステキな遊具がある広場やグラウンドがかなり少ないと思います。小さな公園はたくさんあるのに利用されず、大きな公園にばかり集まってしまい、本来の子供の居場所が少ないというのも子供にとっては居心地が悪いことです。ここ数年で狛江の人口も増え、若い世代も増えることにより、子供も増え、将来狛江を支えていく子供たちに狛江は住みやすいステキな場所だということを肌で感じてもらいたいです。各商店街やイベントなどで活気づくことにより、高齢者など、普段かかわりのない世代の方との交流も増えていると感じるので、住みやすい街づくりからの助け合いで成り立つと良いと思います。

本調査について

- ・「あなたのことについて」のような質問があることが問題。データを取るために年齢分け性別分けをすること自体が無意味。学歴や出生地、年収などを尋ねると同様の質問をこのアンケートに設問することが問題だと意識してほしい。
- ・このアンケートにふりがなをふって下さい。障がい者本人が読めるようにしてほしい。
- ・この程度のアンケートでは全く意味がない。
- ・この様なアンケート調査は有効だと思います。学校では、あらゆる差別がいけないことだと明確に指導することが大切だと思います。ジェンダー（不必要な性別による決めつけ）、人権、国籍、宗教による差別は、日常生活に内在しており、いつも敏感に対応していく不断の努力が必要だと思います。乱筆ごめんなさい。
- ・すみません。今回は絞るのに苦慮しました。
- ・アンケート回答にあたり人権について無関心だったと思いました。多少の意識はありましたが質問と回答を選ぶ過程で選択の難しいものが多くありました。勉強になりました。
- ・このアンケートのネット版は、時間経過でエラーが出て、最初からやり直しになるのが最悪だった。まじめに考える、熟考させる気がないということだと思ったり、狛江市が人権に関する問題解決させたいのは上っ面であることがわかった。
- ・1つだけ。外国人に「選挙権」の選択がありました。全体的に質問の選択肢に違和感を覚えるものが多々ありましたが、これだけは選択肢に入れるのも適切ではない。このアンケート事体に、行政の認識に不安を覚える。
- ・なぜ調査項目の中に「男性の人権」がないのか、男性にも人権はあります。
- ・人権問題について考える時に、今回挙げられている子ども、女性、障がいのある人、高齢者、外国人、性的マイノリティや各種被害者の方々は、話し合いの輪の中にいたのでしょうか。アンケート選択肢の中には、教育、支援、救済、提供など、上から目線の選択肢、言葉

が多いことが気になりました。ふつう⇔変わっている、マジョリティ⇔マイノリティ、強者⇔弱者、役所⇔市民という対立軸から離れないと、ステレオタイプの人権問題の議論しかできないと思います。

・そもそもこの意識調査は、何のために行っているのか？女性の人権の意識調査は、あるのに男性の人権の意識調査がない。狛江市ってそんなもんなんですね。がっかりしました。

・特に人権に関しての意見は無いが、このようなアンケートにいくらの人手と予算が当てられているのか、アンケートに協力を求めるのであればその事も市民に周知して欲しいと思います。そうすれば税金についての意識も高まるし、アンケートに真剣に答える人も増えると思います。2,500人も人の手書きのアンケートを集計するのは大変な作業だと思います。その大変さに見合う（予算に見合う）行動を求め個々の人権意識が高まることを期待します。

その他、様々な人権について

・私が小学生だったときは、障がい者学級の子と通常学級の子がペアを組む企画がありました。しかし、私のクラスでは一人の児童が一年中付きっ切りにならなければならず、つらいと言っていました。交流は大切なことですが、その際、ハンディがあるなしにかかわらずどちらの児童にも負担にならないよう対策してほしいです。

・テレビでしか情報を得ることのできない、いわゆる情報弱者が損をしているような気がする。

・女性や高齢者などの人権もいいですが、成人男性の人権の課題は無視されるのでしょうか？妻からの家事育児ハラスメントや離婚後の親権の扱いが不利になる等の課題はないことではないので、男性女性に分けて人権を考察することに合理性はないと思いますが。

・狛江市に越してきて感じたのは無灯火の自転車と自動車があまりにも多いです。市が人権に関して何かをしているのか、全く知らない。

・20数年前に職場（電話交換手）で約4年間人権侵害を受けました。派遣社員だったので我慢し、総務に相談し部長を交えて話し合いましたが本人は真剣に受け止めませんでした。その後も変わらず続き、総務課長が言い返してかまわないとの事で同じ事をやり返したら3ヶ月でねを上げ私は「貴女がした事の半分位です。いかに自分がひどい事をしたか分かりましたか！！」と言って少しスッキリしました。

・人権は狛江市のみの課題ではなく全世界共通の問題であること。その事を前提として活動をししないと狛江のみのエゴになってしまう。新疆ウイグル・ロシアのクリミア問題等もマスコミが発信しない不条理に立ち向かってほしい。

・20数年前、狛江に転居した時、田舎半分、都会半分でとても住みやすそうでうれしかったのですが、いざ住んでみると商店会や職人の人々（地元）の価値観がほとんど上から目線で、自分達がサービス業であることの意識がほとんど無い態度に驚きました。又、私宅には、ごくわずかな発達障がいのみられる子が居ましたが、その子の社会見学を兼ねて、各サーク

ルの見学をして回りましたが、「あんた病気だろ。そうじゃないかい？」と本人にむけ声をかけられたりしたことが幾度かあり、がっかりして帰ってました。その後、そのせいばかりでは無いとは思いますが、パニック症や強迫神経症などの精神病が進み、25才で睡眠中に急逝しました。この町は特に高齢者の人々の古い考え方の抜け切らない所だと思いました。※このアンケートの各設問に（○は3つまで）とありますが、とても足りません。

- ・最近、声を大にして発言する人の行動ばかりがマスコミにとりあげられ、本当にその発言がみんなのために必要なのか、わからないことが多い。特に、男女に関しては、完璧な平等はありえず、そのことを互いに理解しあうべき（メンズデーは少ない。男性は稼ぐべきなど）。

- ・一部の権力を持つ人だけが優遇されすぎている。

- ・問3につき、狛江市の場合、法務局または人権擁護委員の存在が判りません。

- ・一方向の人権のための講義、啓蒙普及では人権に対する考え方は身につかないと思う。狛江でのいじめ（学校内における）、外国人が困っていること等の問題を丁寧に取上げ、皆がそのことを考える、他人の意見を聞くという積み重ねが必要なのではないか。1人1人が人権について考え、人の意見、考えを知ることが大事である。また、市民の声を聞かない、例として、図書館に関することに対して、他市の図書館を利用すればいい、との発言に対して、狛江に対する誇りが本当はない人なんだと思う。他市から、狛江の図書館はいろいろ工夫があつて、おもしろいねと思われるようにならなければ！

- ・質問が難しく、正しく答えたかどうか分からなかった。子供が小学生の頃に、学校でいじめに遭い、担任に相談に行ったが解決出来ず、一次大阪に引越したことがあった。小学校の先生の仕事が忙しく、子供の人権が守れないのでは。外国人では、中国人と一緒にNPOの活動をしたことがあるが、彼らの生活も大変そうである。もっとやさしい政策を考えてやる必要がある。同和問題は、大阪に比べ、東京では話題にもならない。

- ・特に思うのは、子供、特に中学生の通学途中で見かける、悪ふざけ。他人に害を与えることへの、他人が受ける痛みに対する想像力の欠如。これが、いじめにつながっていくのだと思います。共働きの家庭がほとんどの今、学校や親が細心の注意を払うべきだと思っています。特に男子は、体格が変化していく時期なので粗暴になりがち。学校を通して、家庭に冊子を配ったり、いろいろ工夫をする必要があると思っています。又、今回はコロナのワクチン接種に対して、東京都、国や厚生省のやり方もありますが、高齢者の歩ける距離の場所など、何らかの事情で、外に出られない方のための接種場所などを、もっと細かく考慮してほしいです。これも人権につながると思います。

- ・介護認定の際、市から派遣された認定員に差別的な事を言われた事があります。当時、医師から難病を告げられたばかりで、家族で落ち込んでいた時だった為、認定員からの言葉には打ちのめされました。後日、市役所の方に報告すると、熱心に話を聞いて下さり、救われました。今でも感謝しています。

- ・交通のマナーが悪い人が多いと思います。（車、自転車ともに運転するドライバー達）駒

井町近辺は水道道路も含め歩道が狭く、通学路を歩いている小・中学生が大変そうです。小田急バスを利用している高齢者はまだしも、何かあってからでは遅い気がしています。朝の通学時間に横断歩道で警察や教員が立つのはすごく良いと思いますが、それ以外の時間帯でのドライバー達のマナーをもっと意識づけていくべきかと思います。夜間のバイクの騒音も水道道路はとてもひどいです…。

・狛江の基本条例について、今後広報誌等、注意して見ようと思いました。現在、思わぬ誤解から人権侵害にあっている節があり、どのように解決しようか考えている処です。

・特に変わらないと思いますが市として頑張っている様です。皆さん「力」を合わせていきましょう。

・コロナの問題がある今、人権課題の問題は困難でしょう。「マスク、手洗、うがい」の云われている今、外出を控えず、マスクもせず外出する人が多く原点を失う人が多い中、正しく守られる人はどの位おられるのでしょうか？悲しいです。

・弱者はどこにも相談できない。「警察」「検察」など不平等。

・2年前に高齢の母が亡くなりました。母は要介護「5」で自宅で私が介護をしておりました。紹介されたケアマネージャーに「枯れた花に水をやっても仕方ないから」と言われ最後の方は点滴もうちきられ、人間として扱ってもらえなかった母を思うと本当に悲しくて悔しいです。彼女は市の職員ではなく、国のNPOに所属していると言っていました、友達に話したら「あり得ない！！」と怒ってました。彼女はケアマネージャーとして失格だし、もっと人権について考えてほしい。

・特にないが、目にしたことで気になるのは、「スケートボードの禁止」。どこもかしこも禁止では若い衆はどうすればよいのか？場合によっては施設を設けてはどうか？

・狛江駅前の署名活動をしている方々に、拒否をした所、ご老人に口では言えないような言葉を吐かれました。日本には人権がありますが、狛江には無いのでしょうか。大変不快です。

・人権について立ち入る事の出来る事と、権力的に考える事、自体どうかと思う。問題のある事はたくさん有る。情報を共有し、解決策を多方面から協力してもらおう組織すら無いくせに！出来る事を考えて行動できる現実的な組織があるのか？